

エジンバラ産後うつ病自己評価票

エジンバラ産後うつ病自己評価票とは？

エジンバラ産後うつ病自己評価票 (Edinburgh Postnatal Depression Scale: EPDS) は、産後うつ病のスクリーニングを目的として、1987 年に Cox らが開発した自己記入式質問紙です¹。原版は英語ですが、現在、58 ヶ国語の翻訳版が作成され、国際的に広く普及しています。

日本語版 EPDS の標準化にあたって

1996 年、岡野らが英語版 EPDS を翻訳し、再英訳により整合性を確認した上で、日本語版 EPDS を作成しました。同時にその信頼性と妥当性も検証されました²。

信頼性の高さに関しては、非妊産婦を対象とした再試験法にて良好な結果を得たことと、Cronbach の係数が高値 ($\alpha=0.78$) であったことから示されました²。

妥当性の高さに関しては、産後 1 ヶ月の女性 47 名を対象に、EPDS の結果と構造化面接 (Schedule for Affective Disorder and Schizophrenia) による診断を照合し、① 健常群と産後うつ病群で各項目の得点に優位差があること ② 健常群と産後うつ病群で合計得点に優位差があること ③ 区分点における感度・特異度が高いことから示されました²。

評価方法

EPDS は 10 項目 4 検法で構成される自己記入式質問紙で、所要時間は 5 分程度になります。各質問項目の回答に 0 点から 3 点までの得点をつけて評価し、合計点は最小 0 点、最大 30 点となります。日本語版での区分点は 8 点/9 点であり、9 点以上で産後うつ病の可能性が高いとされています。なお、岡野らの結果では、区分点 8 点/9 点における感度は 75%、特異度は 93%ですが、陽性反応的中率に関しては 50%と高くないことに留意が必要です²。

なお、Cox らによると、英語版に関しては、区分点 12 点/13 点において、感度 86%、特異度 78%、陽性反応的中率は 73%と報告されています¹。

いつ、どのような対象に行うことが推奨されているか

現在、EPDS は妊娠前期から産後 1 年以上の期間の女性を対象としたスクリーニングツールとして広く用いられています。同時に、各国語版で測定時期や対象を変えての信頼性・妥当性が検証されています。1987 年から 2008 年にかけて、妊娠中から産後に EPDS を施行した論文に関するシステマティックレビューでは、37 本の論文が該当し、感度は 34 - 100%、特異度は 44 - 100%であったと報告されています³。妊娠中に施行した EPDS に限

定したシステマティックレビューでは、1987年から2013年までの11本の論文から、感度は64-100%、特異度は73-100%と概ね良好であることが報告されています⁴。

日本語版 EPDS においても、産後 1 ヶ月における信頼性・妥当性が確認されています²。また、日本語版 EPDS を妊娠中に施行した研究も数多く報告されています。今後、様々な測定時期、対象における信頼性・妥当性の調査が待たれます。

因子構造の検討

英語版においては、抑うつ因子と不安因子を含む 2 因子ないし 3 因子構造であるという報告がなされています^{5,6}。下位尺度の利用に関しても検討が進んでおり、不安因子 3 項目を用いた短縮版 EPDS の有用性が提起されてもいます⁷。

日本語版においては、久保田らが、産後 1 ヶ月目の女性約 600 名に EPDS を施行し、確認的因子分析・探索的因子分析により抑うつ因子・不安因子・快感喪失因子の 3 因子構造であることを明らかにしました。^{8,9}

著作権の帰属に関して

著作権は、英国王立精神科医学会 (Royal College of Psychiatrists) に帰属し、使用に際しては許諾を得る必要があり、無断転載を禁じられています。しかし、岡野らが翻訳し、再英訳により整合性を確認した日本語版 EPDS に関しては、現在、許諾の必要なく使用することが可能となっています。

使用上の注意点

施行に際しては、適切な結果を得るためにも、質問紙を改変せずに用いる必要があります。

また、EPDS を施行しただけで産後うつ病を診断することはできないことに留意しなくてはなりません。区分点以上の点数となった対象者には、改めて診断面接を行う必要があります。

名古屋大学大学院医学系研究科精神医学分野
久保田 智香

参照：日本語版 EPDS

ご出産おめでとうございます。ご出産から今までのあいだにどのようにお感じになったかをお知らせ下さい。今日だけでなく、過去 7 日間にあなたが感じられたことに最も近い答えにアンダーラインを引いてください。必ず 10 項目に答えてください。

例) 幸せだと感じた。

はい、常にそうだった

はい、たいていそうだった

いいえ、あまり度々ではなかった

いいえ、全くそうではなかった

“はい、たいていそうだった”と答えた場合は過去7日間のことをいいます。この様な方法で質問にお答えください。

〔質問〕

1.笑うことができたし、物事の面白い面もわかった。

(0)いつもと同様にできた

(1)あまりできなかった

(2)明らかにできなかった

(3)全くできなかった

2.物事を楽しみにして待った。

(0)いつもと同様にできた

(1)あまりできなかった

(2)明らかにできなかった

(3)全くできなかった

3.物事が悪くいった時、自分を不必要に責めた。

(3)はい、たいていそうだった

(2)はい、時々そうだった

(1)いいえ、あまり度々ではなかった

(0)いいえ、全くそうではなかった

4.はっきりとした理由もないのに不安になったり、心配した。

(0)いいえ、そうではなかった

(1)ほとんどそうではなかった

(2)はい、時々あった

(3)はい、しょっちゅうあった

5.はっきりとした理由もないのに恐怖に襲われた。

(3)ほとんどそうではなかった

(2)はい、時々あった

(1)はい、しょっちゅうあった

(0)いいえ、そうではなかった

6.することがたくさんあって大変だった。

(3)はい、たいてい対処できなかった

(2)はい、いつものようにはうまく対処しなかった

(1)いいえ、たいていうまく対処した

(0)いいえ、普段通りに対処した

7.不幸せなので、眠りにくかった。

(3)はい、ほとんどいつもそうだった

(2)はい、ときどきそうだった

(1)いいえ、あまり度々ではなかった

(0)いいえ、全くそうではなかった

8.悲しくなったり、惨めになった。

(3)はい、たいていそうだった

(2)はい、かなりしばしばそうだった

(1)いいえ、あまり度々ではなかった

(0)いいえ、全くそうではなかった

9.不幸せなので、泣けてきた。

(3)はい、たいていそうだった

(2)はい、かなりしばしばそうだった

(1)ほんの時々あった

(0)いいえ、全くそうではなかった

10.自分自身を傷つけるという考えが浮かんできた。

(3)はい、かなりしばしばそうだった

(2)時々そうだった

(1)めったになかった

(0)全くなかった

※() 内は点数

※著作権は、英国王立精神科医学会(Royal College of Psychiatrists)に帰属する

1. Cox JL, Holden JM, Sagovsky R. Detection of postnatal depression. Development of the 10-item Edinburgh Postnatal Depression Scale. *Br J Psychiatry*. 1987;150:782-786.
2. 岡野 禎, 村田 真, 増地 聡, 他. 日本版エジンバラ産後うつ病自己評価票(EPDS)の信頼性と妥当性. *精神科診断学*. 1996.12 1996;7(4):525-533.
3. Gibson J, McKenzie-McHarg K, Shakespeare J, Price J, Gray R. A systematic review of studies validating the Edinburgh Postnatal Depression Scale in antepartum and postpartum women. *Acta Psychiatr Scand*. 2009;119(5):350-364.
4. Kozinszky Z, Dudas RB. Validation studies of the Edinburgh Postnatal Depression Scale for the antenatal period. *J Affect Disord*. 2015;176:95-105.
5. Tuohy A, McVey C. Subscales measuring symptoms of non-specific depression, anhedonia, and anxiety in the Edinburgh Postnatal Depression Scale. *Br J Clin Psychol*. 2008;47(Pt 2):153-169.
6. Matthey S. Using the Edinburgh Postnatal Depression Scale to screen for anxiety disorders. *Depress Anxiety*. 2008;25(11):926-931.
7. Kabir K, Sheeder J, Kelly LS. Identifying postpartum depression: are 3 questions as good as 10? *Pediatrics*. 2008;122(3):2007-1759.
8. Kubota C, Okada T, Aleksic B, et al. Factor structure of the Japanese version of the Edinburgh Postnatal Depression Scale in the postpartum period. *PloS one*. 2014;9(8):e103941.
9. Brouwers EP, van Baar AL, Pop VJ. Does the Edinburgh Postnatal Depression Scale measure anxiety? *Journal of psychosomatic research*. 2001;51(5):659-663.